



教育目標 : 夢と目標 努力と挑戦 自信と誇りを身に付ける戸崎っ子の育成

## 「戸崎っ子 学びの発表会」発信・成長・感謝

- 一 はじめの言葉
- 二 校長先生のお話
- 三 各学年の発表
  - ① 五年 「水俣の海に学ぶ」わたしたちのWatermark
  - ② 二年 「お手紙」戸崎小バージョン
  - ③ 一年 「わたしたちの一年間」
  - ④ 六年 「つなごう 平和のバトン」  
※休憩(十五分)
- 四 全員合唱 「手をつなごう」
- 五 感想(学校運営協議会 様)
- 六 おわりの言葉

進行 戸崎っ子委員会



本年度は、11月の「戸崎よいとこ祭」で、1～3年生の群読、4年生以上の児童委員会活動の様子を披露しました。今回の発表会は、学習発表会の名称を変え、子どもたちの学びを多くの皆様にご覧いただいたり、ポスターセッションに参加いただいたりして、学びを伝え、成長を見ていただき、感謝の気持ちを伝えることをコンセプトに開催しました。当日は、保護者の方、学校運営協議会委員の皆様、地域で大変お世話になった方々に来校いただきました。

参加された方の感想を紹介します。「学んだことを伝えたいという思いが強く表現されていました」「自信をもって発表し成長が見られました」「演奏が上手でとてもびっくりし感動しました」「1年間の成長にびっくりです」「参加した私たちも勉強になりました」

数多くの温かいお言葉をいただきました。ありがとうございました。



3・4年生はポスターセッション



1年生

2年生

## 平和学習 ～中尾勇二様の講話～

6年生は10月下旬に長崎(修学旅行)で平和学習を行いました。語り部である八木道子様にご講話をいただきました。八木道子様は6歳の時、爆心地から3.3kmの鳴滝町で被爆され、今もその時のことを記憶しており、子どもたちに「戦争は最大の差別」であること、そして学びをつないでほしいことを伝えられました。

6年生は今回、森北にお住いの中尾勇二様からお話を聞く機会をいただきました。中尾様はチャレンジ先生として、週に1回程度1年～3年生の学習のまる付けをしていただいています。中尾様の伯父様が復員され、戦後しばらくたってから本を執筆し、その本の記録をもとに話をされました。伯父様は当時都城の特攻部隊の基地に配属され、出撃命令が出る前に、故郷にお別れを言いたく、戦闘機で都城から戸崎小上空を旋回したこと、その時の気持ちや上空から見た戸崎の様子等を伝えていただきました。当時の人々が尊い命をお国のためにささげる気持ち、それを受け止める家族の気持ちを想像すると胸が締め付けられる思いがします。中尾様は人と人が友好に過ごすこと、友達と協力することの大切さも伝えていただきました。また、別の日に菊池飛行場についても「戦争遺産を未来に伝える会」の小山内稔様、坂本眞菜様に話を聞き、これまでの学習で学び感じたことを発表会の「つなごう 平和のバトン」で披露しました。

発表を見た方から「戦争のこと、長崎のことで知らないことがあり勉強になった」「戦争の悲惨さが伝わり、涙が出そうになりました」「他人事ではなく自分事として考える大切さを考えさせてくれました」等の感想が寄せられていました。

6年生の学びが深く、そして、気持ちをしっかりと伝えることができました。



5年生

6年生

学校の様子、月行事予定等を掲載しています

